

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2017/10/21		
所属学部	法政経学部		
所属学科・専攻	法政経学科		

1. 留学先について

留学先大学名	オーストラリア国立大学									
留学先所属学部等	アジア太平洋学部									
留学期間	出発日 2016/2/5	入学日 2016/2/15	修了日 Nov-16	帰国日 2017/3/15						
住居	大学(紹介)の寮・アパート	<input type="radio"/>	民間アパート	<input type="radio"/>	その他()					
	通学時間	20分			On campus					
	通学方法	バス								
	居室スペース	個室	<input checked="" type="checkbox"/>	(4) 人部屋	その他()					
	共有スペース	完全個室	<input checked="" type="checkbox"/>	キッチン	<input checked="" type="checkbox"/>	トイレ	<input checked="" type="checkbox"/>	バス	<input checked="" type="checkbox"/>	リビング
食事	自炊	<input checked="" type="checkbox"/>	%	学食	%	外食	%	その他	%	()
保険	海外旅行保険(名称)									
	派遣先大学指定の保険(名称)	OSHC					<input checked="" type="checkbox"/> 強制加入			
	その他									
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)									
	羽田 ⇄		シドニー		⇄ キャンベラ					

2. 留学にかかった費用について

総費用	120万		円
出処			
自費	<input checked="" type="checkbox"/>	貯金	20万 円
		アルバイト	円
		その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/>	両親	100万 円
		家族・親戚	円
		その他	円
奨学金		JASSO	円
		その他名称()	円
その他		千葉大学助成金	円
		その他()	円

2-1. 財政管理の方法

渡航時	✓	現金	10万	円	その他()	円
留学中	✓	海外送金		キャッシング	その他()	

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	0円
住居にかかった費用	8万円/月、クレジットカードで
その他	食費、旅行費、娯楽、月3万円くらい

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			25万	円
海外旅行保険			7万	円
OSSMA			2万5千	円
査証・在留許可証			5万	円
住居			8万/月	円
食費			2万	円
通学に要する交通費			5千	円
教科書、教材費			0	円
その他大学に支払った経費			0	円
光熱費			0(家賃に包括)	円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無		
			有	✓	無
1 中国古典		6	有	✓	無
2 アボリジニの経済状況		6	有	✓	無
3 オーストラリアと日本の近代関係		6	有	✓	無
4 東アジアの基礎的教養		6	有	✓	無
5 日本語、英語の相互翻訳		6	有	✓	無
6 太平洋諸島の基礎的教養		6	有	✓	無
7			有		無
8			有		無
9			有		無
10			有		無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

学内ページにて、履修調整期間あり。

3-2. 授業内容、方法に関して

どの授業も必ず、講義(2時間)+演習(少人数ゼミ)のセットで構成されている。全ての授業は大学側によって録音され、休んだ生徒も学内ページから聞き直すことができる。

3-3. 語学力について

留学生が多く、授業に必ず2人以上は留学生がいて、つたない英語でもみんな敬意をもってしっかり聞いてくれる。

3-4. 図書館など学内施設について

図書館は5つあり、広いキャンパスのどこかにはある。学部ごとに近いところに1つあり、学部の特化した本が多くある。一番入り口に近いchiefly libraryは24時間/365日開いていて、レポート提出直前にはとても便利。キャンパス内はどこもWi-Fiがあり、印刷機も無線で自分のPCからつなげられ、いつでも印刷できる。施設は比較的新しく、広い以外に困ったことはない。また、学内に銀行、携帯ショップがあり、留学生には大変便利である。

3-5. その他

4. 生活面

4-1. 住居について

最初は大学の寮に1か月住んでいたが、それは大学から徒歩5分圏内、ホテルのような設備で、12万円／月ということで、別の大学の学生寮に引っ越しました。引っ越したところは、学生寮ということで安全ではありましたが、ハウスメイトが日々パーティー三昧で、しかも共用スペースのトイレやお風呂を掃除しないので、本当に困りました。ただ、大きなショッピングモールが近くにあり、市内からちょっと離れて、湖と大自然を近くに感じれたので、走ったり散歩したりして気分転換しました。バスから市街、ANUまではすぐだったので、割と便利でした。学校終わったあとは、短期間のホームステイやシェアハウスを借りました。寮はオーストラリアでは、一概に高く、シェアハウスの方が圧倒的に安いです。

4-2. 食生活について

学校で食パンとシリアルを無料で提供するところがありましたが、さすがに私はそれで毎日過ごすことができませんでした(笑)。冷凍食品を買ったり、また、野菜とフルーツが大変安いので、自炊しました。食費に関して言えば、外食しない限り、日本よりも安いといっても過言ではありません。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

Wi-Fiは寮と大学どちらも完備していたので問題ありませんでしたが、携帯は、事前にsimフリーの機器を買って、向こうでsimカードを契約しました。月3千円くらいで、電話かけ放題、3GBでしたので、結構いい感じでした。

4-4. 服装について

服はスーツケースにほぼ全部詰め込んで持っていきました。日本から別で家族に輸送してもらっている人もいました。向こうのサイズは身長170の私がSでちょうどだったので、小柄な人はサイズが見つからないと思います。安く買える店もありますし、私は割とオーストラリアのデザインが好きだったので、何着かは買いました。

4-5. 健康管理について

学校の医務室は無料でいつでも使えるので、困ったら電話して予約していきました。また、メンタルヘルスセンターも隣にあり、カウンセラーだけではなく、お医者さんもしっかり見てくれます。診療は無料ですが、薬は自腹で処方箋をもって薬局で買います。薬の値段は日本と同じくらいです。コンタクトを使っていたが、液は薬局で買えますが、コンタクトレンズは、事前に日本でまとめて買って持っていきました。

4-6. 保険、OSSMAの利用

留学生は、ビザの申請時に、OSHCに強制的に加入で、診療や緊急時は全部カバーしてくれます。ですので、病気になっても、診療に悩まなくても大丈夫です。学校の医務室は使い放題ですが、病院に行った場合は、あとから払った分の診療費を請求書で求めます。OSSMAはたまに安否のメールが来るので、来たらボタンを押せば大丈夫です。

4-7. 課外活動について

日本に似たサークルのようなものが存在します。スポーツは本格的なものばかりで、他は、ベジタリアンクラブ、難民支援クラブ、中国クラブ、さらには、歌舞伎クラブもありました！だいたいのメジャーな留学生の国のクラブは存在していて、そこで留学生も安心して友達を作ることができます。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

4-9. 日本から持参してよかったもの

コンセントの変換器、コンタクト、爪切り、綿棒、化粧品(やっぱり日本のが質いい！)、simフリーの携帯、ipad(パソコン壊れた時は助かりました)、下着(とにかくサイズがない)、ベッドシーツ(初日に安心して眠れる)

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

私は丸ごと全部日本から持っていきたかったが、食品は大丈夫です！さすが移民大国、アジア食品を売る店があちこちにあるので、みそ汁、カップラーメン、キットカットまで、何でも売ってます！

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

とにかく笑顔で！英語に自信がなくとも、移民が多いので、現地の人には慣れていきます。しかし、愛想がない人、感情を出さない人は嫌われます…よく現地の人が、不愛想な留学生の批判をするのを耳にします。やっぱり本場の英語はなまりがあって速いですが、この国は笑っている限り、みんな優しく接してくれます。大きな荷物を持っていると、いつも助けてくれる人がいるし、どこでも、バスがなくなったら、すぐ車で迎えに来てくれます。特に、キャンベラは小さな都市なので、現地の人と仲良くすることは本当に大切です。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

【シドニー】: 平均滞在2日間4回くらい、キャンバラから一番近い大都市、バスで片道3時間半、片道30ドル(学割)、何かイベントがあったり、息抜きにもってこいの場所

【メルボルン】: 滞在1か月、キャンベラからだバスで片道8時間、片道70ドル(学割)、ホステルの相場は、一晩30ドル

【ケアンズ】: 滞在4日間、約15万円、シドニーから飛行機で3時間、片道300ドル

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

5. その他

5-1. 留学先大学について

やはりレベルが高く、勉強好きな生徒が多い。留学生が年々増えているので、そこで、政府は、学費を国内生との3倍、またTOEFL,IELTSのスコアも高い。集まってくる生徒は、国内外本当に熱心であった。また、教授も大変優しく親身で、授業の管理が統一されてある大体、出席が20%、課題(2~3回のレポート、また読み物が毎回)が50%、テスト30%のようになっている。授業で使われたパワーポイントも必ず乗っていて、生徒の勉強のサポートには本当に親身であった。だいたいoffice hourはいつも予約でいっぱい、また、授業を休むと、個別にメールで安否を聞いてくれる先生もいる。出席よりも積極的な発言が問わす。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

TOEFL,IELTSの点数が通らなくて、悩んでいる人が多いです。早めに対策しましょう。私は2回受けました。オーストリアは留学生が本当に多く、在学者の3割と言われています。経済学部などは、半分が留学生というクラスもあったみたいです。特に、ANUはアジア太平洋学部があるので、アジアに興味ある人がいっぱい、街並みも小さく、比較的友達を作りやすいと思います。大自然を身近に感じられ、カンガルーがあちこちにいる、冗談みたいな環境です。日本の学生は交換留学生在がほとんどで、東大、一橋が多いです。ぜひ千葉大生も来て、充実した時間を過ごしていただけたらと思います、頑張ってください。

5-3. 留学を終えて

本当に様々な価値観、生活スタイルが変わった1年でした。辛くていっぱい泣いたこともありましたが、出発前からそもそもビザが来るのが遅くて心配しかありませんでした。でも、やりたいことには全部挑戦し、何よりも、異郷での人間の温かさに気づき、感謝した1年でした。日本だったら、こんな奇想天外な発想する人がいないだろう、とか、逆に、日本だったらこんなに失礼なこと言わないでしょう！みたいなこともありましたが、自分は日本で育ったんだ、世界ってもっとこんなにごじゃごじゃして、こんな考えもあったんだ、とにかく驚いた1年でした。ただ楽しい思いをする旅行とは違って、いかに生き抜いていくか、というのを実感した1年でもありました。留学する理由は様々だと思いますが、私は視野を広げられ、本当に行ってきたので、みなさんももし悩んでいたら、ぜひ勇気をもって1歩踏み出してください！